

地域を支える多様な農業人材の育成

ねらい

海部地域の農業を維持・発展させるためには、担い手を継続的に確保し、育成することが重要です。そこで、地域外からの就農希望者を中心に、海部農業の魅力や多様な就農パターンを提示し、地域を支える多様な担い手の確保に努めます。また、新規就農者の受入れ体制を整備することで、地域農業を支える新たな農業人材の育成を図ります。

活動地域・対象

活動地域：美波町、牟岐町、海陽町・対象：JA生産部会、新規就農者、就農希望者等

普及活動の目標

新規就農者 15名 / 農業関係人口 600名

目標に向けた活動概要

1. 地域を支える担い手の育成・確保と就農への意欲喚起

(1) 就農相談会&セミナーの開催

新たな担い手を確保するため、「就農相談会&セミナー」を毎年2回開催しました。

具体的な就農イメージを持てるよう、就農までのステップから就農支援策、各品目の栽培管理等について紹介後、個別相談を実施しました。

(2) 農業体験メニューの整備

就農希望者の多様なニーズに合わせて、期間や内容を選べる農業体験メニューを新たに整備しました。

2. 地域が求める農業人材の拡大

(1) 総合学習や体験会等による情報発信

地域の小中学生や県内外の大学生等にキュウリやユズの収穫体験を通じ、海部農業の魅力を発信しました。「海部きゅうり塾」のフェイスブックで海部農業の取組みを発信しました。

(2) 「農ある暮らし」志向者の確保

海部郡での多様な就農スタイルを紹介する動画を6本（半農半X2本、有機水稻栽培1本、雇用就農1本、マルチワーカー1本、6次産業化1本）、海部型移住就農モデルを4パターン作成し、移住就農フェアや就農相談会等で海部農業のPRに活用しました。

(3) マッチングアプリ等を活用したヘルパーの確保

人材雇用研修会やマッチングアプリ説明会等を開催し、労働力の確保に努めました。



<就農相談会&セミナー>



<1日農作業体験>



<体験メニュー>

普及活動の成果

1. 地域を支える担い手の育成・確保と就農への意欲喚起

(1) 就農相談会&セミナーの開催

通算24名の就農希望者が受講しました。就農相談会等をきっかけに9名が就農しました。

(2) 農業体験メニューの整備

8種類の農作業体験メニューを整備し、SNS等による周知に努めました。

「1日農作業体験」では県外から2名の就農希望者が参加し、「お試し就農米づくり」では1名の申込みがありました。

2. 地域が求める農業人材の拡大

(1) 総合学習や体験会等による情報発信

「海部きゅうり塾」のフェイスブックで海部農業の取組みを週1回以上発信し、フォロー数は678名(12名増)、閲覧数は25,370回(R5~R7.12)となりました。

(2) 「農ある暮らし」志向者の確保

動画の作成や海部型移住就農モデルの作成により、移住就農フェアや就農相談会で具体的な就農イメージを提示できるようになりました。

(3) マッチングアプリ等を活用したヘルパーの確保

1日農業バイトアプリ「デイワーク」を活用して、地域内外からの応募者がきゅうり生産者とマッチングできました。



<フェイスブック>



<動画撮影>



<ヘルパー募集>

今後の発展方向

今後も多様な担い手を継続的に確保していく必要があるため、作成したPR動画や就農モデルを活用して就農希望者が海部農業をイメージできるPRを続けていきます。また、就農相談会や農業体験、個別相談を通して、就農希望者の円滑な就農へ導くとともに、トレーニングファーム等で就農後の早期技術習得を支援します。

関係者からの声

・就農相談会に参加したことで、就農後をイメージすることができた。また、セミナーをきっかけに視野が広がり、栽培希望品目が増えた。(就農希望者)

美波農業支援センター

連絡先：徳島県海部郡美波町奥河内字弁才天17-1

tel：0884-74-7491